

(公社)岐阜県理学療法士会研修部主催

平成 30 年度 研修会レポート

平成30年10月14日(日)に行われた(公社)岐阜県理学療法士会研修部主催 平成30年度 研修会について報告させていただきます。

今回は、中部学院大学にて、帝京科学大学 医療科学部 理学療法学科 准教授 豊田 輝 先生をお招きして「脳卒中片麻痺の装具療法 -急性期から生活期までの理学療法として何を考えるか-」というテーマにてご講演を頂きました。今回は、県士会員 91 名、スタッフ 7 名と非常に多くの先生方が参加くださいました。

豊田先生には、装具療法への調査報告や各病期での課題、装具の基礎知識についてご講義頂きました。講義の中で、装具の処方・仮合わせ・完成後それぞれの時期で義肢装具士との情報交換の大切さを改めて知る事が出来ました。

また、急性期・回復期・生活期を通し理学療法士の関わりについて教えて頂きました。そして、歩行分析についての問題点と具体的な対処法を指導して頂き、明日からの臨床に活かせる内容も多かったように感じました。



貴重な時間をさいて講演して頂きました豊田先生、心から感謝申し上げますとともに、先生の講義で学ばせて頂いたことを臨床に活かせていけたらと思います。また、準備に携わって頂いた研修部の皆様、準備や後片付けをお手伝い頂きました会員の皆様、誠にありがとうございました。

学術局研修部 部員

木沢記念病院 安藤春菜